

國學院大學学術情報リポジトリ

2016年度のトピック2『学生宗教意識調査総合報告書(1995年度～2015年度)』

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 井上, 順孝 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00001906

『学生宗教意識調査総合報告書（1995年度～2015年度）』

國學院大學日本文化研究所編（井上順孝編集責任）『学生宗教意識調査総合報告書（1995年度～2015年度）』が2017年2月に刊行された。この報告書は、國學院大學日本文化研究所のプロジェクトと「宗教と社会」学会・宗教意識調査プロジェクトの合同により、1995年度から2015年度まで12回にわたって実施された学生宗教意識調査の総合版である。12回の調査結果はすべて報告書として刊行されているが、誤植や数値の微細な誤り等を訂正して一冊にまとめたものである。グラフの体裁も統一された。なお各報告書にあったまとめの部分は割愛されている。

この調査の1つの大きな足場になっているのは、1990年度にスタートした日本文化研究所のプロジェクト「宗教と教育に関する調査研究」（責任者・井上順孝）が1992年度に実施したアンケート調査である。この調査は全国の大学生4千名あまりを対象とした大がかりなものだった。1993年には「宗教と社会」学会が設立され、同学会に学生宗教意識調査プロジェクト（責任者・井上順孝）が設けられた。1995年度からは2つのプロジェクトが合同し、全国の大学生（第1～7回は少数の専門学校が含まれている）を対象に、毎回数千人規模のアンケート調査を実施することになった。以来2015年度まで12回の調査と1回の臨時調査が実施されたのである。

さらに日本文化研究所のプロジェクトが1996年から「宗教教育の国際比較」となり、韓国の宗教教育との比較研究も始まった。そこで日本の学生に対するアンケートとほぼ同じ内容の調査を1999年から開始し、2007年ま

で合計4回実施した。

質問項目は第5回と第8回の25項目を除いて20項目からなるが、いずれも前半部分は毎回ほぼ同じ内容である。回答者の基本的属性、宗教への関心度合、両親の信仰の有無などである。これによって20年間の変化が見やすくなる。

なお、本報告書はPDFファイルとしてネット上でも公開されている。以下のサイトからダウンロード可能である。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/research/oard/ijcc/ken-nicgibunkenkankobutsu/p01>

2017年度には本報告書の分析編に当たるものが刊行される予定である。20年間の変化についての分析や、主だった事項についてはクロス集計がなされ、調査結果についてのより細かな考察が試みられる予定である。これまでの調査結果に基づく研究書や研究論文等もすでに数多く刊行されているが、これらについても網羅的に紹介される。



（井上順孝）